

城南衛生管理組合
管理者 松村淳子殿

2023年度：城南衛生管理組合
環境マネジメントシステム 外部評価報告書

2023年12月20日

外部評価員

芦原昇 吉田康夫

(文責:吉田)

外部評価実施日 2023年12月19日- 20日
外部評価実施サイト ・本庁 ・クリーンパーク折居 ・グリーンヒル三郷山
・クリーンピア沢 ・EMS事務局
・沢中継施設：移転

【総合評価】

以下の評価により、城南衛生管理組合環境マネジメントシステムは「組織にとって適切であり、運用は妥当であり、意図した目標に対し有効である」と判断します。

【移転審査】

沢中継施設は、2023年4月1日付で移転されました。移転先における「環境側面の抽出から著しい環境側面の決定並びに法規、条例等の特定及び順守評価等」は適切に実施されました。

【総括】

1. システムの運用

今回の外部評価は「第5版：2023年4月3日付：城南衛生管理組合環境マネジメントシステム運用マニュアル」（以下、マニュアルと表記）に基づいて実施しました。
環境側面の抽出／影響評価から著しい環境側面の決定が行われ、活動の展開（目標・維持管理・中長期計画・緊急事態その他）が行われています。目標の設定及び取組、順守評価、内部監査、緊急事態への準備及び対応等は適切に実施されていました。

2. マネジメントレビュー

2023年5月24日にマネジメントレビューが行われています。マネジメントレビューでは、専任副管理者の指示事項として、令和6年度の新事務所棟への移転によるシステムの適切な変更並びに有益な環境側面の拡大、エコオフィス活動の徹底、カーボンニュートラルに向けた「ロードマップ」の策定や周知について指示がありました。

又、トップインタビューでは「CO2削減に向けた取組の一環として、ごみの減量化をさらに推進する、そのことを住民にお願いをするうえで、まず組合自体が取組を徹底しなければならない。その意識を高める方策の一つとして、組合職員一人3点の不用品を持ちより、来年7月の本庁移転先のクリーンパーク折居において工房のリユースコーナーに活用する」計画をお伺いしました。

【主要項目の評価】

1.計画：目標の管理

目標の設定には3つの枠組みが示されています。「組織全体の共通目標（省エネ、省資源、ごみ排出）」「安心・安全な施設運営」「各サイトの目標（循環型社会、脱炭素社会の構築をめざす）」があります。

2022年度の目標達成状況

- ・組織全体の共通目標 : 8件 ⇒ 達成 7件 達成率 87.5 %
- ・安心・安全な施設運営目標: 7件 ⇒ 達成 4件 達成率 57.1%
- ・サイトごとの目標 : 11件 ⇒ 達成 9件 達成率 81.8%

環境目標が未達成の場合は、「不適合・是正処置記録」を作成することになっています。

確認事例：本庁 1件の是正処置が実施されていました。

2. 法的及びその他要求事項

事務局にて作成された「環境関連法規制登録等一覧」では該当法令及び対象サイトが指定されています。各サイトでは「法的要求事項等一覧兼順守報告」が作成され、該当月に順守評価を行い、同報告書に実施した旨の表示がなされています。

半期ごとに同報告をEMS事務局に提出し事務局で確認しています。

3. 内部監査

直近の実施状況2023年7月21日～7月28日 監査員10名（登録監査員39名）

内部監査対象 ・施設：7 ・本庁：3 ・EMS事務局

内部監査チェックシートを使用してきめ細かな監査を展開しています。

2021年 称賛事項：12件、要望事項：11件、観察事項：3件、不適合：1件

2022年 称賛事項：15件、要望事項：17件、観察事項：7件、不適合：2件

2023年 称賛事項：11件、要望事項：13件、観察事項：6件、不適合：0件

2023年度の要望事項並びに観察事項は適切に改善されていることを確認しました。

監査員の専門性を考慮された監査員の選定、監査員は自部門の監査を行わない等、監査における公平性、有効性が認められます。

4. 不適合について（内部監査、環境目標以外）

2022年度において、「法規制に対する不順守」が発見されました。（2022年9月1日）

不適合内容：9/1 放流水サンプリングを実施／検査。 9/13 検査結果が判明、六価クロム化合物濃度が「基準値 0.25mg/L」に対し「0.95mg/L」と不適合が発見された。

⇒是正処置：作業工程を飛ばしたことが原因であったので「作業手順書」が作成された。以後年1回、作業手順書による教育を行うことをスケジュール化され、2023年度の実施を確認しました。（クリーンパーク折居）

【要望事項】

① EMS事務局及びサイト全般

・現在、城南衛生管理組合では、カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ（素案）を作成中で、2030年目標：削減率46%達成を目指した取組が示されています。より効果的なロードマップとするべく以下の要望をさせていただきます。

a. サイトごとの基準年度：CO2排出量の表示

b. 例えば、クリーンパーク折居でのごみ焼却時のCO2除去については、どのような技術や設備が有効かを「研究／検討」する取組を表示されることも有効です。

・専任副管理者の指示事項に加え、見直し記録の質疑応答も研修の中身に加えられてはどうでしょうか。

② 本庁

CO2削減は、組合としては避けて通れない課題です。事務部門をまとめるサイトとしてさらに職員の温暖化防止に対する意識向上を図りロードマップがより実のあるものとなるよう、側面から後押ししてください。ロードマップはCO2削減の指標です。

③ クリーンパーク折居

内部監査において観察事項とされた「簡易な印鑑漏れ」等は、処置期限を待たずに速やかに措置されることが肝要です。

④ グリーンヒル三郷山

研修の際の力量評価については、質疑応答方式も含め一工夫が必要と考えられます。

【称賛事項】

① 本庁

・会計課：指名競争入札参加申請時に「SDGs」項目を追加されています。取組の有無は入札に反映されます。環境配慮活動に対する意識の向上に繋がります。

② クリーンパーク折居

昨年、六価クロムが基準値をオーバーし是正処置をされました。その後の再発防止対策等はきめ細かな内容となっており大変良好です。他サイトにも水平展開されることをお勧めします。研修項目も所属のリスクを考慮した内容になっています。

③ グリーンヒル三郷山

・法順守や目的・目標、研修において、マニュアルに従い実直に遂行されています。（マネジメントシステムの基本はマニュアルどおり実行することです）

・内部監査の称賛事項にもありましたが、環境推進員の不在時にも運用管理者の指示でマネジメントシステムを適切に運用されていることを確認しました。

④ クリーンピア沢

処理方法が変化になっても自らを厳しく律しながらのノルマルヘキサン等の管理はご

苦劳様です。文書の管理は良好です。

⑤ 沢中継施設

施設課において、ごみの減量化に向け「三市三町の担当課長等と議論」を重ねています。

⑥ EMS事務局

電子決裁等、年々目標を掲げスキルアップされる姿勢は評価に値します。

以上